

平成 26 年度 藤沢西高等学校 不祥事ゼロプログラム（改訂版）

県立藤沢西高等学校は、事故・不祥事の発生をゼロにすることを目的として、次のとおり不祥事ゼロプログラムを定める。

1 策定方針

- (1) 教育公務員としての自覚に基づき、不祥事防止の基本に立ち返る。
- (2) 生徒を守るとともに、保護者や地域住民から信頼される学校づくりを進める。
- (3) 不祥事防止研修の充実及び職員間の学び合い・助け合いを図る。

2 実施責任者

- (1) 本不祥事ゼロプログラムの実施責任者は、校長とする。
- (2) 副校長、教頭及び事務長は、校長を補佐する。
- (3) 総括教諭は、校長、副校長、教頭及び事務長を補佐する。

3 目標及び行動計画

課 題	目 標	行動計画
1 法令遵守意識の向上	教育公務員としての自覚を持ち、信用失墜行為を防止する。	(1) 不祥事に関わる新聞記事等の掲示や職員間のコミュニケーションなどをおして、不祥事防止に対する認識を深める。 (2) 「神奈川県職員行動指針」の内容を繰り返し職員に周知する。
2 わいせつ・セクハラ行為の防止	人権意識を高め、わいせつ・セクハラ行為を根絶する。	(1) 職員が校外にて受講した人権に関わる研修の内容を校内で共有し、人権感覚を磨く。 (2) 事故不祥事防止会議において、実際の事例や啓発資料を活用しながら研修し、携帯電話や電子メールを適切に使用するよう徹底する。
3 体罰、不適切な指導の防止	生徒の人権を保障し、体罰や不適切な指導を防止する。	(1) 部活動顧問会議等において体罰防止のガイドラインや啓発資料を配付し、部活動における体罰の防止を図る。 (2) 校内相談窓口について生徒へ周知し、生徒が相談しやすい環境づくりを進める。
4 成績処理及び進路関係書類の作成・取扱いに係る事故防止	厳正確実な成績処理を行うとともに、調査書、推薦書等の発行には慎重を期す。	(1) 成績処理マニュアルに基づいた確実な業務を徹底するとともに、新たな点検プログラムの開発を目指す。 (2) 調査書、推薦書の作成・取扱いの際は、学年、グループによる組織的な点検体制を強化する。
5 個人情報等の管理、情報セキュリティ対策	個人情報の取扱いには細心の注意を払い、流出や紛失を防止する。	(1) 個人情報の校外持ち出しは極力控え、持ち出す際は、許可願の提出を徹底する。 (2) 校務用 USB の使用ルールを再確認したうえで活用する。
6 交通事故防止及び交通法規の遵守	交通法規の遵守や交通マナーの向上により、無事故・無違反を目指す。	(1) 継続的に安全運転を職員に呼びかけ、特にスピードの出し過ぎを戒める。 (2) 深酒を避けるとともに、飲酒の予定がある当日翌日は、自家用車での通勤は控えるよう職員に呼びかける。

7 業務執行体制の確立	職員の勤務実態改善を図る。	(1) 衛生委員会の開催回数を増やし、執務環境の向上への取組みを進める。 (2) 情報の共有化を図り、風通しの良い職場づくりを進める。
8 会計事務の適正執行	公費及び私費の会計事務をルールに沿って厳正に行う。	(1) 財務事務調査指導における指摘事項を基に、事故不祥事防止会議にて研修を行う。 (2) 会計伝票等の処理、点検を厳格に行う。
9 入学者選抜に係る事故防止	入学者選抜業務要項に沿って適正に業務を進める。	(1) 文書・データ等の事務処理及び管理は、常に複数の職員で厳密に行う。 (2) 学力検査・面接検査を遺漏なく遂行できるように、全職員で業務要項の読み合わせを行う。

* 上記のほか、以下の取組みを行う。

- (1) 全職員を対象とした個別面談を実施する。
- (2) 各課題について「ふじにし日常点検」によりセルフチェックを行っていく。

4 検証

(1) 中間検証

3に規定する行動計画について、平成26年9月末までに日常点検票「ふじにし日常点検」で実施状況を確認し、取組みが十分でなかった項目については、10月の事故不祥事防止会議で報告のうえ、目標達成に向けて職員の意識を改める。また、必要に応じて計画の修正を行う。

(2) 最終検証

3に規定する行動計画について、平成27年3月初旬までに日常点検票「ふじにし日常点検」で実施状況を確認し、各自が目標達成について自己評価を行う。その結果を基に、3月の事故不祥事防止会議で達成状況の検証を行い、次年度「ふじにし日常点検」の各月の重点目標を作成するとともに、平成27年度における藤沢西高等学校不祥事ゼロプログラムを策定する。

5 実施結果

4(2)の検証を踏まえ、「検証結果」を取りまとめたうえで、教育委員会に報告する。

6 事務局

プログラムの策定及び実行の具体的手続きについては、事故不祥事防止会議（企画会議）がこれを行う。